

飛鳥資料館 平成26年度秋期特別展 奈良文化財研究所埋蔵文化財センター設立40周年記念

「はぎとり・きりとり・かたどり—大地にきざまれた記憶—」

遺跡の地下に眠る土層は、歴史の証人といえます。普段は目にすることができない土層を見ることができたら、何がわかるでしょうか。この秋、飛鳥資料館では、飛鳥・藤原地域の発掘調査でみつかった土層の「実物」を、一堂に会した展覧会を開催します。

遺跡の土層の表面を、薄く樹脂で固めて、布で裏打ちし、はがし取る「はぎとり」(土層転写)。これは奈良文化財研究所 埋蔵文化財センターで開発されたものです。この技術により、土層を資料として実物で保存・展示することが可能となりました。土層からよみとれる、飛鳥時代の造営事業や人々の営みの痕跡。その規模の大きさ、美しさ、多様さをご堪能いただければと思います。

(飛鳥資料館 西田 紀子)



会 期：2014年10月10日(金)～11月30日(日) 会期中無休

開 館 時 間：9:00～16:30(入館は16:00まで)

記念講演会：11月1日(土)14:00～ 澤田正昭氏(東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター長)

「もうひとつの遺跡保存—土層転写と遺構切り取り—」

ギャラリートーク：10月10日(金)、11月22日(土) 各日10:30～、14:00～

ホームページ：<http://www.nabunken.go.jp/asuka/> お問合せ：☎0744-54-3561(飛鳥資料館)

編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp/>
Eメール jimu@nabunken.go.jp
発行年月 2014年9月